

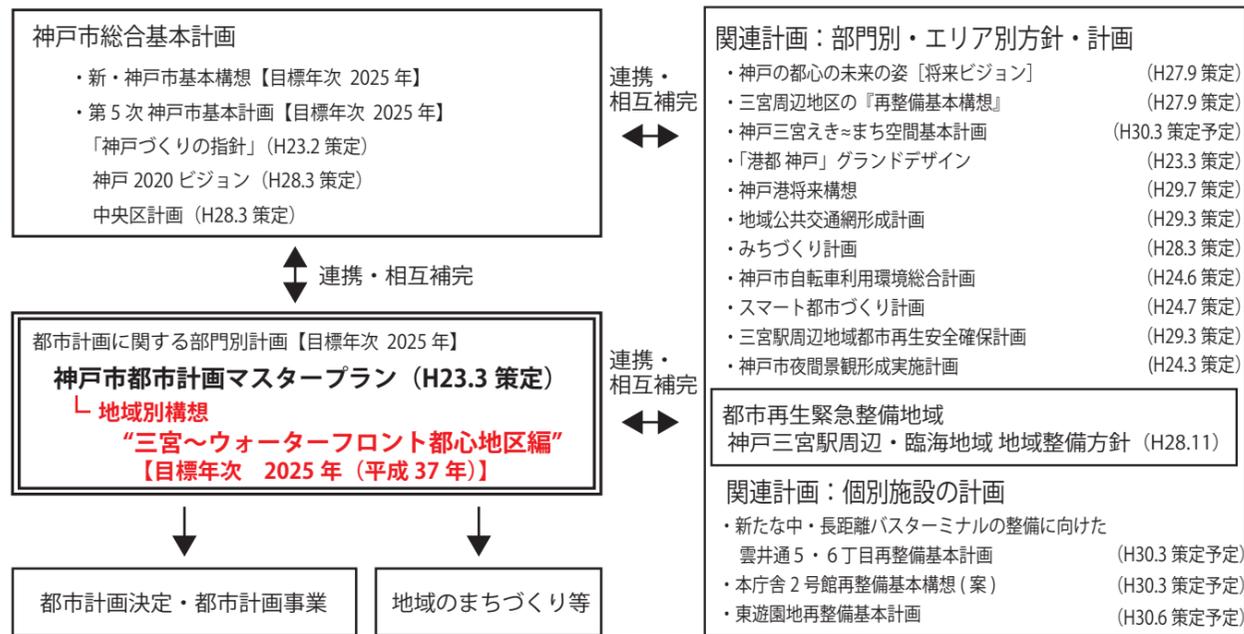
1 策定の趣旨

現在、三宮～ウォーターフロント都心地区では、「国際港神戸」「デザイン都市・神戸」の玄関口としてふさわしい空間づくりに向けて、神戸全体のまちや経済を活性化し、国際競争力を高め、市民、事業者、来街者にとって魅力的な都市空間の整備等を進めていくことが求められています。

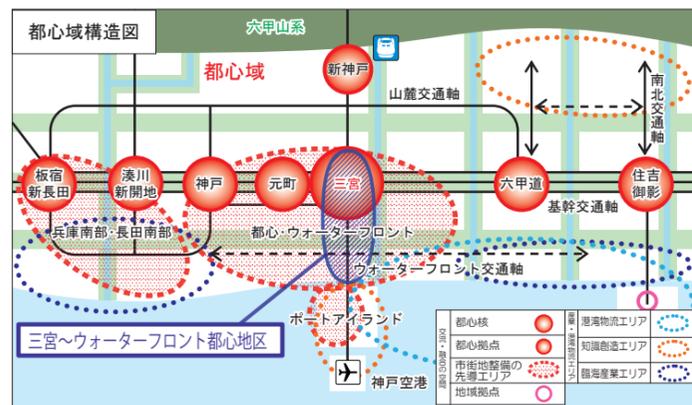
そこで、当地区の「現状と課題」、それを踏まえた「めざす都市空間」、具体のまちづくりの方向性を示す「分野別の基本的な方針」を明らかにし、当地区が目指すべき将来像の実現に向けた取り組みを示すため、神戸市都市計画マスタープラン 地域別構想 “三宮～ウォーターフロント都心地区編”（以下、地域別構想）を策定します。

2 地域別構想の位置づけ

地域別構想は、神戸市都市計画マスタープランにおける当地区の空間計画として位置づけるものです。



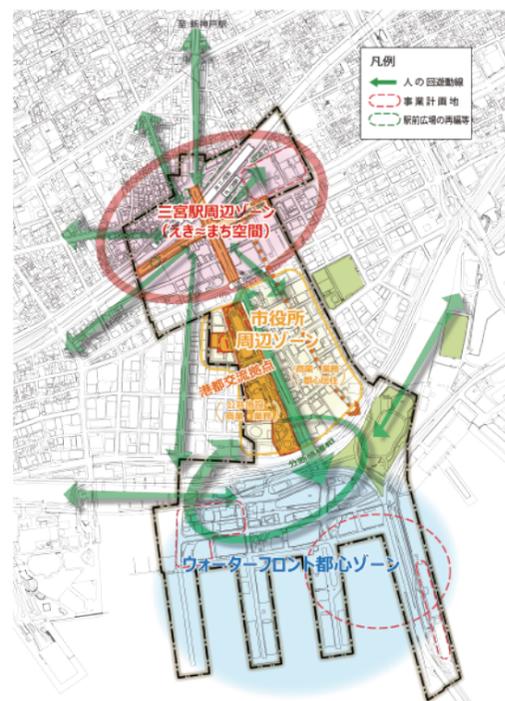
神戸市都市計画マスタープラン 都心域構造図における位置づけ



区域

三宮駅を中心とする「えきまち空間」と「ウォーターフロント都心」そしてそれをつなぐ南北軸（税関線、葺合南54号線沿道を含むエリア）を「三宮～ウォーターフロント都心地区」の区域とします。

“三宮～ウォーターフロント都心地区”の区域及び土地利用方針概略図



3 地域別構想の構成

(1 “三宮～ウォーターフロント都心地区編” 策定の趣旨と位置づけ P.1)

地域別構想 “三宮～ウォーターフロント都心地区編” とは

(2 現状と課題 P.2～3)

現状

- ・商業・業務が集積する神戸の玄関口
- ・多くの建替えされていない高度経済成長期の老朽建物
- ・これまでになかった土地利用の発生

課題

- ・高度経済成長期に建設された建物の建替え促進
- ・神戸の玄関口にふさわしい美しい景観の形成
- ・魅力ある商業・業務機能の集積と都心居住の調和
- ・港湾物流機能の沖合への移転後の跡地における計画的な土地利用の誘導
- ・公共交通機関の乗換えの複雑さの解消
- ・津波対策の推進や帰宅困難者対策など都心における災害対策
- ・都心とウォーターフロント間の分断感緩和による一体的な回遊性の向上

(3 めざす都市空間 P.4)

都市構造から求められるもの

- ・交通機関が集積する三宮駅周辺での公共交通機関の乗換えの円滑化
- ・周辺の魅力ある地域との回遊性の向上
- ・様々な都市機能の強化と周辺地区との連携の相乗効果による都心全体の魅力向上
- ・「国際港神戸」を創生する先導エリアとして、ウォーターフロント都心に様々な都心機能を導入

めざす都市空間

美しき港町・神戸の玄関口 “三宮” へ

- ① 活力を創造する都市空間
- ② 災害に強く安全で、誰もが暮らしやすい都市空間
- ③ デザインの視点で磨かれた魅力ある都市空間
- ④ 環境と共生する都市空間

(4 分野別の基本的な方針 P.5～12)

土地利用

- ① 三宮駅周辺～ウォーターフロント都心を一体としたにぎわい空間の創出のための戦略的な土地利用
- ② 広域的かつ多様な都市拠点の形成と連携

都市交通

- ① 神戸の玄関口である三宮駅の交通結節機能の拡充・強化
- ② 広域交通拠点間のネットワーク形成による利便性・回遊性の向上
- ③ 魅力的な交通環境形成のための人・公共交通を優先した都心内の移動手段の充実
- ④ 都心部のにぎわいを創出する回遊ルートの整備

都市機能

- ① 高度商業・業務地における機能強化のための都市の再整備

環境共生

- ① エネルギー消費の削減と先進技術の導入によるエネルギー利用効率の向上
- ② 快適な都心部の環境づくりの推進

安全・安心

- ① 安心して暮らすための防災機能の強化
- ② 地域の防災・防犯力の向上

都市デザイン

- ① 神戸らしさを演出するウォーターフロント都心の魅力向上
- ② デザイン都市にふさわしい美しさや魅力を備えたまちづくり
- ③ 神戸の夜景のさらなる魅力向上
- ④ 誰もが暮らしやすく訪れやすい空間作り

協働と参画

- ① 地域団体と連携したエリアマネジメントによる特色あるまちづくりの実践

用語の解説

4 スケジュール

2018年3月11日(日)
3月12日(月)

2018年3月13日(火)
～4月12日(木)

2018年6月頃(予定)

2018年6月末頃(予定)

説明会

市民意見募集

都市計画審議会
諮問・答申

策定